

The 23rd Japanese Association for Clinical Ventricular Assist Systems

## 第23回 日本臨床補助人工心臓研究会学術集会



### プログラム・抄録集

当番世話人：碓氷 章彦

(名古屋大学大学院医学系研究科 心臓外科学)

開催日：平成29年9月1日(金)

会場：法政大学市ヶ谷キャンパス

## ご挨拶

謹啓 残暑の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、第 23 回日本臨床補助人工心臓研究会学術集会を 2017 年 9 月 1 日に法政大学市ヶ谷キャンパスで開催させて頂くこととなりました。補助人工心臓治療に携わる多くの医療関係者の方々からのご支援を賜り、本研究会を開催させて頂く事は大変光栄なことであり、心より感謝申し上げます。また、例年より 2 ヶ月以上早い会期のため、準備が遅れました事をお詫び申し上げます。

2011年に定常流植込型補助人工心臓が保険償還され、補助人工心臓治療は心臓移植までの橋渡し治療として広く普及し、2016年には植込型補助人工心臓実施施設は成人46施設、小児13施設に拡大し、重症心不全患者の治療の根幹を担うまでに成長しました。本会は、医師のみならず補助人工心臓治療に携わる様々な専門職の方々にご参加いただける会として発展していますが、わが国における補助人工心臓治療の発展の大きな礎となっていると思っています。日常診療の最前線で活躍している本研究会会員の方々が、治療に係る様々な問題や対策を議論することで、わが国特有の考え方や治療法を共有し、更なる成績向上に寄与できればと希望しています。

第55回日本人工臓器学会大会においても、補助人工心臓に関連したシンポジウム、パネルディスカッションが多く予定されていますが、今回の学術集会のシンポジウムのテーマは「VAD治療における感染症」と致しました。昨年施行された心臓移植患者の平均待機期間は1000日以上となり、今後はさらに長期化することが予想されています。植込型補助人工心臓管理が長期化する事に伴い、多くの合併症が発生します。J-MACSデータ解析からは、VAD関連の感染罹患率は時間経過とともに増大し、1年45%、2年61%となっています。心臓移植患者の全例が植込型補助人工心臓治療患者である事から、「VAD治療における感染症」を如何に予防し、如何に治療するかが心臓移植への橋渡しとして現実的な戦略となっています。今回のシンポジウムにおいては医師の発表5題に加え、コメディカルからの発表2題を戴きました。活発な議論を行って戴けますよう期待しております。

一般演題に関しては、医師の発表4題、コメディカルの発表9題の応募を戴き、全て口演としてプログラムを作製致しました。補助人工心臓治療に携わっている多くの方々にご参加戴き、研究の成果について活発な発表議論を行い、実り多い学術集会にしたいと希望致します。皆様のご参加をお待ちしております。

謹白

第 23 回日本臨床補助人工心臓研究会学術集会  
当番世話人 碓氷 章彦  
(名古屋大学大学院医学系研究科 心臓外科学)

# ご案内

## 研究会参加の皆様へ

### 1. 参加受付

参加受付は9月1日（金）11:00から法政大学市ヶ谷キャンパス 富士見ゲート4階 G403（第5会場）前にて行います。

受付にて参加証をお渡しいたします。お名前・ご所属をご記入の上、会場内では必ず着用いただきますようお願い申し上げます。参加証の再発行はできかねますので、あらかじめご了承ください。紛失・破損にはご注意ください。

### 2. 参加費

3000円：当日受付にてお支払いください。

### 3. 世話人会

日時：平成29年9月1日（金）11:30-12:30

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス富士見ゲート4階 G401（第3会場）

### 4. お問い合わせ

第23回 日本臨床補助人工心臓研究会学術集会 事務局

名古屋大学大学院医学研究院 心臓外科学 六鹿雅登

E-mail: cvs@med.nagoya-u.ac.jp

〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65 TEL 052-744-2376 / FAX 052-744-2383

## 口演発表の演者の皆様へ

### 1. 発表時間

一般口演：発表5分 / 質疑応答3分

シンポジウム：発表8分 / 総合討論 25分

※座長の指示に従って、指定された時間内でのご発表をお願いします。

### 2. タイマー

一般演題(口演)については、発表時間中は緑ランプ、発表終了1分前に黄ランプが点灯、終了時に赤ランプが点灯しお知らせいたします。

### 3. 次演者

前演者の登壇と同時に、次演者は次演者席に着席してください。

#### 4. 発表方法

原則として大会事務局の用意したPC (Windows版PowerPoint 2003・2007・2010・2013)によって行っていただきます。

※Macをご使用の方は、ご自身のノートパソコンを必ずご持参ください。その際、外部出力用コネクタ (D-sub15ピン) 及び電源アダプターを必ずご準備ください。

スクリーンセイバーと省電力設定はあらかじめ解除をしてください。

#### 5. 発表の準備と事前確認

11時から富士見ゲート6階 G601のPC受付にて発表データをご提出ください。発表者はセッション開始の30分前までに受付と試写を済ませてください。

#### 6. データメディア

発表データは、USBまたはCD-Rでご準備ください。CD-RW、MOその他のメディアは受付できません。また、iPadによる発表は対応できません。

#### 7. 発表用データの作成

##### (1) 利益相反について

口述およびポスター講演時に開示するスライド例の見本と加工用データを学会公式ホームページ (<http://www.jsao.org/member/79.html>) にて掲載しております。スライドやポスター原稿の2枚目 (表紙の次) に表示してください。ご確認のうえご対応くださいますようお願い申し上げます。

##### (2) フォント

Windowsで標準搭載されているフォントのみ使用可能です。

日本語：MS ゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝

英語：Times new Roman、Arial、Arial Black、Arial Narrow、Century、Century Gothic、Courier New、Georgia  
これ以外のフォントを使用した場合、文字、段落のずれ、文字化け、表示されないなどのトラブルが発生する可能性があります。

##### (3) 動画ファイルの取り扱い

動画を挿入される場合、スライドにリンクするファイルを1つのフォルダにまとめてください。拡張子が.wmvのWindows Media Video 形式のファイルを推奨いたしますが、トラブルを避けるため必要な方はご自身のPCの持ち込みをおすすめいたします。

##### (4) 画面サイズ

プロジェクタの解像度はXGA(1024×768)です。この環境のパソコンで画面のすべてが不具合なく表現されることを予めご確認ください。また学会会場内の「PC受付」でもご確認ください。

#### 8. PC データ消去

大会事務局で用意したPC内のご発表データは、学会大会終了後に消去いたします。

## **座長の皆様へ**

座長の先生は、担当セッション開始予定10分前までには、次座長席にご着席ください。開始の合図が入り次第登壇し、セッションを開始してください。円滑な進行をお願い申し上げます。

## **討論者の皆様へ**

質問やコメントのある方は、あらかじめマイクの前に立ち、座長の指示に従ってください。円滑な進行にご協力をお願い申し上げます。

## 第23回 日本臨床補助人工心臓研究会学術集会プログラム

◇日時：平成29年9月1日（金） 12:30-16:00

◇会場：法政大学市ヶ谷キャンパス

本会 12:30-16:00 富士見ゲート4階 G403（第5会場）

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1

◇当日連絡先：第55回日本人工臓器学会大会運営事務局

株式会社プランニングウィル内 TEL 03-6801-8084

### 本会 12:30-16:00

#### ◆開会の辞

12:30-12:32

当番世話人：碓氷章彦（名古屋大学大学院医学系研究科 心臓外科学）

#### ◆一般演題 セッション I

12:32-13:28（発表5分 / 質疑応答3分）

座長：築瀬正伸（国立循環器病研究センター 移植医療部）

久保田香（大阪医学部附属病院 看護部）

1. 植込型補助人工心臓ドライブライン貫通部周囲の皮膚ケアに関する実践報告 - シャワー洗浄時の工夫 -

北海道大学病院 看護部 加藤美香

2. 小児体外式補助人工心臓装着患者における送脱血管皮膚貫通部の管理

埼玉医科大学国際医療センター 小児ICU 鈴木裕香

3. 当院における自宅調査の必要性の検討

埼玉医科大学国際医療センター 看護部 福田容子

4. 植込型補助人工心臓装着患者に対して再指導を行った経験 - 施設により異なる自己管理指導の標準化への一提言 -

大阪大学医学部附属病院 看護部 中島桃花

5. Heart Mate II®のドライブライン一部断線により一過性のポンプ停止をきたし交換までのあいだ終日バッテリー駆動にて対応し得た症例の経験

埼玉医科大学国際医療センター MEサービス部 石井春華

6. 開心術後の高度左室機能障害に対しBiVADを導入し管理に難渋した1例

筑波大学附属病院 医療機器管理センター 藤谷亮太

7. 補助人工心臓関連業務に対するスキル向上を目指した教育の取り組み

大阪大学医学部附属病院 臨床工学部 丸山雄一

#### ◆世話人会報告

13:28-13:38

日本臨床補助人工心臓研究会 代表幹事：北村惣一郎（国立循環器病研究センター 名誉総長）

#### ◆日本補助人工心臓レジストリー報告

13:38-13:48

日本臨床補助人工心臓研究会 幹事：福嶋教偉（国立循環器病研究センター 移植医療部）

#### ◆一般演題 セッションII

13:48-14:36（発表5分 / 質疑応答3分）

座長：新浪博士（東京女子医科大学 心臓血管外科）

六鹿雅登（名古屋大学大学院医学系研究科 心臓外科学）

1. LVAD装着術後リハビリに神経筋電気刺激療法を追加した下肢筋力回復効果

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部 小林聖典

2. 植込型補助人工心臓装着症例における運動耐容能の長期推移について-Bridge to Bridge症例における検討-

埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーションセンター 花房祐輔

3. 体外設置型補助人工心臓装着後、早期に離脱となった心筋症の1例

国立循環器病研究センター 移植医療部 岩崎慶一郎

4. VAD植込み後の体液貯留に対しSGLT2阻害薬を使用して管理した1例

群馬県立心臓血管センター 心臓血管外科 森下寛之

5. 遠心ポンプ補助からNIPRO VASへの変更により急速に肺うっ血を来した広範囲急性心筋梗塞後LVAD装着の1治験例

東京医科歯科大学大学院 心臓血管外科 黒木秀仁

6. 劇症型心筋炎に対するVAD治療症例の検討

千葉大学医学部附属病院 心臓血管外科 焼田康紀

### ◆シンポジウム『VAD治療における感染症』

14:36-15:57 (発表8分 / 総合討論25分)

座長：荒井裕国 (東京医科歯科大学大学院 心臓血管外科)

塩瀬 明 (九州大学大学院 循環器外科学)

1. ドライブライン感染、スキントラブルを回避する試み —当院でのドライブライン管理—

埼玉医科大学国際医療センター 看護部 土屋美代子

2. 当院におけるドライブライン貫通部洗浄管理による4例の経験

長崎大学病院 心臓血管外科 谷川和好

3. VAD治療におけるデバイス感染に対する治療戦略

東京大学医学部附属病院 心臓外科 木下 修

4. 九州大学病院における植込型左心補助人工心臓関連感染症の現況

九州大学病院 心臓血管外科 牛島智基

5. 植え込み型LVAD症例における感染対策

東京医科歯科大学大学院 心臓血管外科 八島正文

6. 補助人工心臓装着患者のドライブライン感染に対する診断および治療戦略

名古屋大学大学院医学系研究科 心臓外科学 藤本和朗

7. 植込型補助人工心臓感染の現状と治療戦略

大阪医大学大学院 医学系研究科 心臓血管外科 堂前圭太郎

### ◆閉会の辞

当番世話人：碓氷章彦 (名古屋大学大学院医学系研究科 心臓外科学)